

東海大学付属望星高等学校

同窓会会報

第32号



いつも前向きに

校長 細野久一

私は結婚して今年四月、四十一年目にあります。長くもあり短くもあった四年間、妻に感謝するとともに、妻に対しても心がけたことが一つあります。家で食事をするときのことです。はじめの一回、口にしたところで、「うまい！」と心中で叫ぶのです。いつもそうしてきました。今では外で食事をするときでも、自然にこの言葉がでてきます。

理由は二つあります。一つは、自分自身に暗示をかけるためです。よくしたもので、「うまい」と叫ぶことでおいしく思えてくるし、本当においしく食べることができるのです。

もう一つは妻への感謝の気持ちからです。ほとんど食事をつくったことのない私には、毎日の食事を作ることの大変さが理解できます。その大変なことを妻は毎日、あれこれ工夫をして夫のため(?)に食事をつくっているのです。料理をつくることが好きであるとは思えない妻であるだけに、その大変さはなおさらだと思います。その料理を「まずい」といつてしまつては、妻のその日一日の努力を否定したに等しいですし、妻は不愉快な思いを抑えることができないと思います。妻が不愉快になれば、夫の自分も愉快ではありません。結局、食事をおいしくするもつまらなくなるも、ものごとを面白くするもつまらなくするも、自分次第で、自分の心の在り

ようであることがわかつてきます。ものごとに必ず、よい面と悪い面が半分ずつあります。表があれば必ず裏がある、明があればその影になる暗があるように、表と裏、明と暗は常にセットになつてているのです。表と裏、明と暗のいずれを見るかその見方、考え方をほんの少し変えるだけで心中の思ひは一八〇度変わってしまうのです。

九〇歳代のちよ女士といふ方の作品に『ちよさんシリーズ・全五巻』(たま出版)があります。その第五巻『ありがとさん』の中に次の文章があります。私の身体は、私の心の在りようで、良くなつたり悪くなつたりすることが、身に沁みてよく判り始めました。(中略)捉われの中にいつも居ると、どんどん身心も重く、苦しくなつてしまします。見るもの聞くもの、電気スタンドの灯りさえも、本当に暗くなるという事実を知りました。私の想念を暗から明へと、常に切換え出来るように、心がけることに致しました。

一、過去を見ない
二、今を生きる

三、ありがとさん (サンキュウさん)

一つの困難に出あつたとき、後ろ向きにならないで、「これを乗り越えれば自分は一步前進できる。スキルアップできる。人間的にも成長するチャンスなのだ」と前向きに考えたいものです。常に前を向いていれば、遠い先のかすかな光も、明るくとらえ

ることができます。いつも前向きでプラス思考の持ち主は、自分らしい生き方を成功導く力を有しているともいえるのです。通信制教育は社会の変化にさらされ、様々な変貌を余儀なくされました。その中にあつて本校は、いつも前向きでプラス思考をもつて未来を切り開いてまいりました。社会の変化を先取りした新しい教育体制や、多様化する生徒一人ひとりに対応した柔軟な学習システムがその好例です。「望星」ならではの通信制教育が、いつもそこあります。

そして本校は、付属高等学校通信教育部として開設以来五十一年目・付属望星高等学校として独立以来四十七年を迎えた昨年(二〇〇九年)、次の半世紀に向けて新たなスタートを切りました。〇九年度・・・地下二階屋内体育施設改装一〇年度・・・一年時高校通信教育講座のオンデマンドでのインターネット配信北海道校・静岡校・福岡校の生徒募集停止一一年度・・・全年次高校通信教育講座のオンラインデマンドでのインターネット配信一階・地下一階改装(計画)
一二年度・・・東京校・熊本校・連携校による新生望星高校スタート
高校通信教育講座の衛星ラジオ配信終了
幾多の困難を乗り越えて、半世紀の歴史を刻んできた「望星」です。先人たちの思い、前向きな努力を受け継ぎ、私たちは新しく「望星」づくりに邁進します。
「望星」の誇り、財産は同窓生の皆さん一人ひとりです。いつも前向きで元気にご活躍される会員の皆さんが私たちに活力を与えてくれます。今後とも母校への力強い応援、支援をよろしくお願ひします。
結びに、同窓会の充実、発展と会員の皆さんのご健勝を心より祈念いたします。

会長就任ご挨拶



会長
金谷義孝

この度、六代目望星高校同窓会会长に選出されました十四期卒の金谷義孝です。どうぞ宜しくお願ひ致します。私のプロフィールと同窓会の流れを併せてご紹介したいと思います。

私は昭和二十三年七月二二日長崎市にて出生致しました。昭和三九年の高校一年時に東京オリンピックが有り、それを見たくて上京し、そのまま銀座に住みつきました。やんちゃだった私が一七歳時、遊び仲間とたまり場にするため、小さな喫茶店を銀座に開店しました。そして松屋デパートの社員食堂喫茶室をまかされ、その後、銀座・赤坂などで飲食店・不動産業等を経営致しました。

現在は鍼灸マッサージ業と、健康保険取扱申請ソフトを開発し鍼灸マッサージの健康保険申請代行業を営んでいます。これらの仕事が成功したのも、望星高校で高卒の資格を得て、国家資格の受験資格を得た事と、建学の精神が大きな原動力となつております。趣味は子供の頃から五二年間続いている武道で現在、琉球古武道八段・空手

道七段で道場経営を含めて、武道関係の役職も多数兼務しております。この武道も望星空手部で池渕先生・仙波先生と汗を流した事も良き思い出です。

私が望星高校に入学した動機は昭和四十八年二四歳の時に長女が誕生致しました。

経済的にも安定し、学歴が無くても社長業が確立し私自身は学歴の必要性は感じなかったのですが、父親が高校中退で嫌な思いを子供にさせたくないと思いました。その頃の入学時は同級生が百五十人はいました、二四歳でも若手に入る程、多種多様の生徒の集まりでした。先生も生徒も熱い人が多く、入学初日から先輩達の歓迎コンパで飲み会が始まりました。

下倉前会長を初め同窓会の方達ともすぐに知り合いになり、4年生の生徒会長の時には、同窓会役員を文化祭に招待したり、その頃に発行された同窓会会報に私の飲食店広告を掲載して頂いた事もありました。

学校と同窓会の流れを簡単に述べますと、昭和三八年東海大学望星高等学校として独立。初代校長宮本延人先生就任。

昭和三九年第一回卒業生二八名。同窓会発足、初代会長鶴田幸雄氏（一期生）就任。

昭和四十年二代目校長駒林栄太郎先生就任。

昭和四二年三代目校長に鈴木昂先生就任。

昭和四四年五代目校長に内木文英先生就任。

昭和四八年第三代会長に下倉良次氏（五期生）就任。

昭和五四年第四代会長に松長根哲郎氏（八期生）就任。初代事務局長に金谷義孝（十期生）就任。昭和六十一年松長根哲郎氏死去

これもすべて望星で学び身に付いた事と感謝するとともに、母校にどのような恩返しをするか思慮しております。

同窓会は生徒会と違い長距離と短距離のようないが有ります。昨今はどの学校も同窓会の衰退、その有り方について悪戦苦闘しております。その一つの原因としては、経費もかかるのであります。例えば、高校野球のように全校に誇れるものがあれば、校歌も唄い熱く燃える事もできるでしょう。

ところで、望星の校歌は東海大学校歌と同じなのをご存じですか？今年の正月は、大学ラグビー選手権や箱根駅伝でも校歌を耳にしました。これから望星同窓会の方向性や盛り上がりの一つとして、同窓会の積極参加の機会の場を増やす事や校歌・建学の歌が。歌詞を見なくても大きな声で歌えるようにする事など、できる事から取り入れます。皆様も、同窓会が卒業生に何をしてくれるかではなく、卒業生が母校に対しても何をするかを考えてはいかがでしょうか？

勿論、当同窓会は皆様の将来設計等、さまざまな悩み事相談をいつでも応じております。私を見かけたら気軽に声をかけて下さい。皆様の声を聞かせて下さい。どんな事でも構いません。在学中や卒業してからも良き仲間でいましょう。

最後に永年に渡り同窓会に尽力頂きまして、下倉良次前会長に深謝致すとともに、望星の伝統を守り、私のできる限りの力を望星高校同窓会に捧げたいと思います。

内木文英



生きるということ

東海大学付属望星高校
名誉校長

内木文英

満五十九年五ヶ月ほどいっしょに暮らして
いた妻が、昨年(二〇〇九年)十月十九日、この
世を去った。八十二歳四ヶ月の人生であつ
た。八年あまり前、動脈瘤が心臓の近くに発
見され、東京大学で緊急手術をした。生命は
救われたが、後遺症のため歩くことがむづか
しくなった。望星高校の卒業生で看護婦をさ
れている数人から、「あまり患者さんの面倒を見すぎると、いよいよ動けなくなるから、先生、我慢して、でき
るだけ奥さんのしたいようにさせて貰うのですよ」と言われた。しかし、何年か経過すると妻の
歩く力はまったく失せ、寝たきりの生活が続
くことになる。

昨年八月、声が出なくなり、九月に入つて、
渋谷区広尾の日赤医療センターで精密検査
を受けると、「肺がん」「あと一ヶ月の命」と宣
告された。寝たきりの妻といつしょに生活を続けてきて、
いわゆる老々介護というものをしてきた私
にとって、「妻の死」がどういつものかわかつ
たつもりでした。人間はいつか死をむかえる。
逃げることも隠れることもできない。しかか
り死と向かい合つてその時を待つのだ。

私は戦争の時代を生きてきた。終戦の時(一
九四五年八月)、私は陸軍二等兵という最下
等の兵隊だった。三月十日の空襲、原爆など、
戦闘に関わりのない幼子やその母、老人達を
何十万人も殺したアメリカを許すことはで
きない。戦つて死のうと思つていた。人間は死
なねばならないときは、まつすぐ、「死」に向
かって進まなければいけない。そう考えてい
た。

妻も覚悟をしていたようと思つ。死の三日前に、私を呼び、かすれた小さな声で「ごめんなさい。ありがとう」と言った。そして苦しみに息をひきとた。

しかし、その妻の死がこれほど生き残った私を苦しめるか、考へてもいなかつた。この文章は、死後百日ほど経つて書いている。百日経つたら、と思うて、こんな気持は妻を亡くした老人しかわからないように思われる。そして今、死について考へることは、生きることを考えることだ。生きるということは、自分の生きることを考えることだ。つまり自分ができるとしつかり行動することだ。そう考えている。

だから私は毎日、できるだけ長く歩くことにして、昨日は久しぶりに新宿から、富ヶ谷の自宅まで歩いた。歩きながらいろいろ考える。約一時間、夜道をゆっくり小田急の線路にそつて、今は暗渠となり、その上が遊歩道になつた、あの「春の小川」の上を歩いた。高野辰之が歌つたあの「春の小川」の上を歩きたつもりでした。人間はいつか死をむかえる。がら、私は妻を想い、悲しみの裏側に、喜びもひそんでいるなど感じていた。

先生が喪主挨拶の際、自らの仕事などを朗々と語つた後、「こうして好きなことを

内木先生へ

三十期
田中陽子

昨年十月、内木文英名誉校長の百合子夫人が天に召されたと、いう知らせが入つた。九〇年の入学以来、内木先生の人柄や生き方に勇気づけられた。先生を支えて下さった奥様に心からお礼を述べたいと、その思いもあり、十月二十四日の告別式に参列した。

東京メトロ東西線、浦安から大手町に出で、丸ノ内線で、新宿まで出る、新宿から京王新線に揺られ二駅、幡ヶ谷に着くと、数人とともに斎場まで行つた。

先生は喪主として、気丈に振舞つていらした。その姿を目にする、胸がジーンとし、なんていつていいのかわからない、悲しみに暮れている先生をひとかけらでも力づけようと思ったのだが、逆に励まされてしまう。

参列をしながら、いつの間にかさわやかな感覚に襲われて、氣づきました。

人々が集まり、導師さま(お坊さん)がいらっしゃって式が始まる。さわやかさはさらに高まる。お經に耳を傾けていると、アメリカに生まれ、良妻賢母として一生を終えたと夫人が持つていらした性格が反映されていましたのかしらと、思いました。

先生が喪主挨拶の際、自らの仕事などを語つた後、「こうして好きなことを

やれたのは、百合子、お前のおかげだよ」といった瞬間、私や周りの女性たちは涙を流しました。しかし湿つた涙ではなく、さわやかな涙だったのです。内心驚きました。最後に「ありがとう」と先生がおっしゃろうとしたとき、「あり・・・」と先生が声をつまらせ、号泣されたとき、会場には温かく一体感に包まれていました。

今、胸が張り割かれるような事件が多い世の中、この告別式はかつて日本人が持っていた美德、思いやり、情け、愛などがさわやかさと一緒に凝縮されていた式でした。参列者の皆様ともフレンドリーに話しができ、ある方がおっしゃるには「今日の式は文英さんや百合子さんを心から思つてくれている人達は集まつたんだね」私は、さわやかさの正体は奥様の性格とともに、見送る人たちの心が一体となつてかもし出している雰囲気だと見受けられました。

皆、人を思いやり、温かさに満ち溢れ、さわやかさが漂うーこれは望星の校風とも重なり合いました。

先生が喪主挨拶の中で「あきらめることで新しい人生の一歩を踏み出す」とおっしゃっていました。私事で申し訳ないのですが、当時胸を痛める出来事があり、先生の一言ではつと目覚め立ち直ることができました。

内木先生は私が人生でいちばんつらい時期に前向きな言葉をかけてくださいり、挫折から立ち直らせてくださった恩人です。

恩人が苦しんでいたときに、少しでも助けになりたいと、思ったのに、逆に先生に励まされました。

恩に報いるのには、先生の言葉を守り、謙虚に、そして真摯に、感謝をして暮らししていくことか、と思い、毎日を過ごしております。

最後に百合子夫人の御冥福を心から祈るとともに内木先生が、心をお落としにならず、心身ともに健やかに過ごせますように。

先生へ、素晴らしい場と言葉と思いやりをありがとうございます。心をこめて感謝。

合掌

第二回連合同窓会報告

平成二十一年十月十・十一・十二日北海道、第四高校に於いて第三回連合同窓会が行われた。

連合同窓会は、全国の東海大学付属高校十一校が毎年持ち回りにて開催する。

当校は、金谷新会長初め漆谷、原澤、寺林、長南、清水、柳、須永の各氏八名となつた。

十日九時半に旭川空港にて、集合、旭川動物園、旭川市博物館、宿泊地へと向かい、十一日、札幌中央市場、白い恋人パーク、小樽運河、田中酒造、石原裕次郎記念館、十二日は支笏湖を経由し苫小牧市にあるノーランホースパーク新千歳空港にて解散しました。

連合同窓会の総会は、二日目宿泊地定山渓温泉で、活動報告、会計監査等の議事進行が無事に終了。

懇談会では、各校の紹介、アトラクション等があり、各高校良い酒の場となり、意見の交換、一年ぶりの話題に花が咲いたのではないか。個人的なことになるが、北海道には、仕事や個別的によく行くことがあるが、いつも新しい

発見。出会いがある。

旭川動物園では、オオカミの生態系、旭川市博物館ではアイヌ文化歴史、ノーザンホースパークでの乗馬等いい体験もできた。パラグライダーをするので、次ぎに行く時は、機材を背負って大自然の空の上から風を楽しむ。個人的なことになるが……

来年度開催校は相模高校です。第三回の節目の年でもあり、新しい変化、出会いがあるのではないかと思う。



文化祭見学

三十九期
時 田 早 紋

久しぶりに望星高校の文化祭の見学に行つた。今年のテーマは「Jet'aime09—WORLDWIDE 2009—」。望星高校が創設50周年を迎えたことで全世界へ更に幅広い

視野と大きな愛を育んでいたら…という在校生の願いがこめられたテーマであった。

高校の入り口横には縁日で見るような模擬店が出ていてお祭り気分を高めていた。一階の入り口に入ると、生徒達による受



二階に上がると、人の背丈くらいあるボードに洗剤・割り箸についてなどの説明があつた。その理由は中庭で判明した。食品関係の出し物はほぼ全て容器のデポジット（使用容器を返却すると、支払った金額の一部が返却されるシステム）を行つていたのである。

割り箸は再利用できないため、環境に配慮した物であるというボードの意味がここで判明した。食券を事前購入するシステムも良かったと思う。私が在校生であった頃、

付があり、その横に校内の見取り図とともにどのような出し物があるのかが分かるようになっていた。配られたパンフレットもそれに工夫を凝らし、手作り感が満点である。

二度模擬店を出したことがあるが、食品を扱いながら同時に現金を扱うことに抵抗があった。販売容器も使い捨ての物を使用した記憶があるので、デポジットと共にこれからも続けていくつて欲しいと思う。

パンフレット片手に校内を回るのも文化祭ならでは、である。



今回の文化祭で、同窓会は209教室で主に連合同窓会等で撮影した写真展示を行った。室内には役員が待機し、来場した方々の質問等にも答えることが出来た。残念ながら教室内の全ての空間を上手に利用する

ことは今後の課題となるが、これを機に、卒業後の情報交換の場、また人生の先輩方との交流の場としての同窓会が在校生に少しだけ伝われば良いと思う。

二度模擬店を出したことがあるが、食品を扱いながら同時に現金を扱うことに抵抗があつた。販売容器も使い捨ての物を使用した記憶があるので、デポジットと共にこれからも続けていくつて欲しいと思う。

今日は、望星高校で取り組んでいる「親子で農業体験」についてご報告します。

本校での取り組みは、今年で三年目。年間を通して活動は全4回で、田植え、草取り、稻刈り、餅つきがある。本校「健康推進室」で企画し、NPO法人「花咲き村」のボランティアスタッフの協力のもと、東京都西多摩郡日の出町で行なわれている。

同地区は、過疎、高齢化が進み、農業後継者

者が減っていることもあり、多くの水田や耕作地が放置されている現状がある。活動のねらいには、失われつつある日本の原風景、生物多様性の保全といった問題を生徒に提起する環境教育的側面と、直接体験による農業体験を組み込むこと、それも家族を含めて取り組むことにより、生徒達の「自律と適応」を支援し、更には「生きる力」を育むことを目的とした体験学習の両面がある。

平成二十一年度にはその活動が「文部科学省・豊かな体験活動推進事業・高校生の社会奉仕活動推進校」として認定された。

二〇〇九年度活動の展開

田植え 6 / 13

苗代で育てた稲の苗を抜き、田植え用に束ねる。その後水田に運び、横二列になつて植える。初体验の生徒達が多いことから



十月とは思えぬ低い気温の中、屋外で売
り子をしていた皆さんお疲れ様でした。

卒業生の皆様方、たまには在校生の若さ
みなぎる母校の文化祭に足を運ばれてはい
かがですか?

稻の間に生えている雑草を抜く。この時終了後恒例の「流しそうめん」を食べる。
稻刈り 10 / 10

雀よけのネットを外し、稻を刈り、束ねて干す。稻刈り用の鎌を使うため、安全面に配慮する。



尚、ご出席できない方もハガキにて近況をお知らせ下さい。

第四十七回同窓会のご案内

小さな庭の片隅で今年も山吹の花が咲き、黄色い花弁が散り零れています。

たまには学生時代に立ち返って、過ぎし日の思い出を自分自身の言葉で、自分のハートを開いて語りあいましょう。

懐かしい先生や仲間たちが、必ず温かく迎えてくれることでしょう。

記

一、日時 平成二十二年五月三十日(日)

午後一時より総会

午後二時より懇親会

二、場所 東海大学付属望星高等学校

総会

懇親会

二階学食談話室

三、会費

今年度卒業生 二千円

ご夫婦での参加 五千円

餅つき12／12

事前に、脱穀精米したもち米を蒸し、餅つきを行う。年間の活動のまとめとする。



〈参加生徒の感想から〉

田んぼの中に足を入れたことがなかったので、最初は少し抵抗がありました。作業を進めていく内にそんなことが気にならないほど無心に草を刈っている自分に驚きました。「秋になると、すごくきれいな色をつけるから毎年楽しみなんだ。」ボランティアスタッフの方が言われた言葉が、私は印象的でした。何故かというと、稻ではなく雑草に対しての言葉だったからです。

心から自然が好きな人は、雑草すら愛おしく感じてしまうものなのかなと会話をしながら普段気づかない事に気づかされた思いがしました。

（「草取り」に参加して。放送コース4年次生女子）

農業体験に親子三人で参加しました。普段は親子の会話らしいものはあまりありませんでしたが、今回一緒に農業体験に参ったことによって、家でも少し話題が増えたような気がします。農業体験や学校生活のことでも会話に出るようになってきた。

（親子で初参加。放送コース1年次生女子）



計 報

同窓会会員の第一期卒業

田中一男様が、平成二十一年十一月九日
七十八歳で永眠されました。

〒一四一〇〇三
東京都北区中十条一八一三
電話〇三(三九〇六)三八七二

ご冥福をお祈りいたします。

平成20年度 会計決算報告

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成21年5月24日

収 入		支 出	
前期 繰越金	4,944,703円	連合関係費	178,000円
新会員入会金	1,189,000	生徒会関係費	20,000
新会員年会費	386,000	通信費	535,380
総会時年会費	20,000	会報費	350,000
総会時寄付金	13,000	事務局費	50,253
局振込年会費	207,000	総会費	162,091
局振込寄付金	118,000	印刷費	180,250
銀行振込寄付金	1,000	交通費	101,260
利子・利息	8,712	会議費	13,637
立替金(バインダー)	190,200	卒業記念品費	579,600
		支部活動費	96,000
		涉外費	11,325
		機器整備費	0
		(小 計)	2,277,796
		繰 越 金	4,799,819
合 計	7,077,615円	合 計	7,077,615円
次期(平成21年度)	繰越金 4,799,819円		

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。

平成21年5月17日

監査役 清水 庄司(2期) 監査役 針替 幸子(27期)

平成18年度総会・懇親会収支決算報告

平成20年5月25日 望星高校に於いて

収 入	支 出
会費 91,000円	飲食費他 253,091円
(総会費より負担) 162,091円	

平成21年度 予算案

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成20年5月25日

収 入		支 出	
前期 繰越金	4,799,819円	連合関係費	200,000円
新会員入会金	1,185,000	生徒会関係費	90,000
新会員年会費	415,000	通信費	550,000
局振込年会費	250,000	会報費	350,000
利子・利息	3,000	事務局費	80,000
		総会費	170,000
		印刷費	180,000
		交通費	150,000
		会議費	20,000
		卒業記念品費	580,000
		支部活動費	95,000
		涉外費	50,000
		機器整備費	100,000
		(小 計)	2,615,000
		繰 越 金	4,037,819
合 計	6,652,819円	合 計	6,652,819円

平成21年度 役員選出

会 長	金谷 義孝(14期)
副 会 長	漆谷 靖康(6期) 原澤 純一(9期) 各支部同窓会支部長
書 記	駒崎 美帆(28期) 奥山 優子(46期)
会 計	長南 友行(7期) 桦 麻紀(34期)
事 務 局 長	寺林 勝實(29期)
事 務 局 次 長	須永 英典(38期) 武藤 夏美(46期)
広 報 担 当	時田 早絵(39期) 鈴木 広和(42期)
監 査 役	清水 庄司(2期) 針替 幸子(27期)